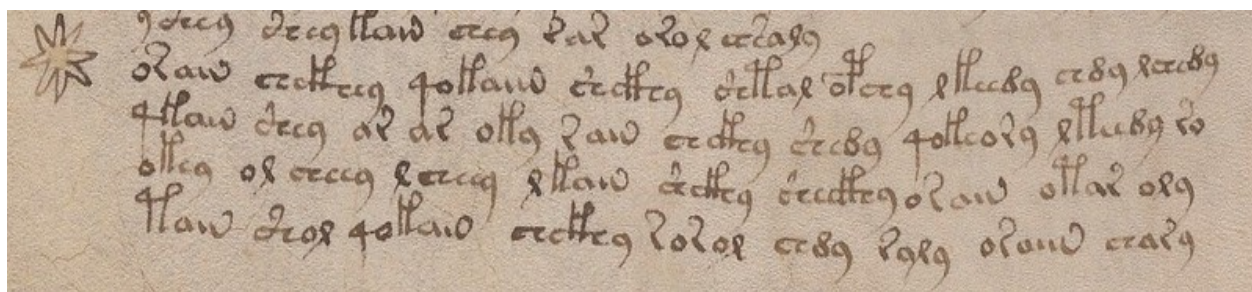


国別紹介の内、我が国に係わる国はいくつもあります。
ここにもいくつか出てきます。

星に紐がありませんのでその当時でも滅亡した国でしょう。



daraid aaqatb nadaqand baqab bafaum dapaab taqttsb aasb umaatsb
農地の恵みが国から離なれて成り立たず、代表者は前向きな希望が多い
ウムクツツ国をいくつかの国のウムアアト国とした。

naqaid batb ar ar daqb raid aaqab batsb nadaqtdarb umfttsb rda
少しではない助けで変化し、つぎつぎに土地を支配し周りを助けた。
離れた人はバツト国となり統治の無い農民となった。
ウムクツツ国は周りが小さかった。

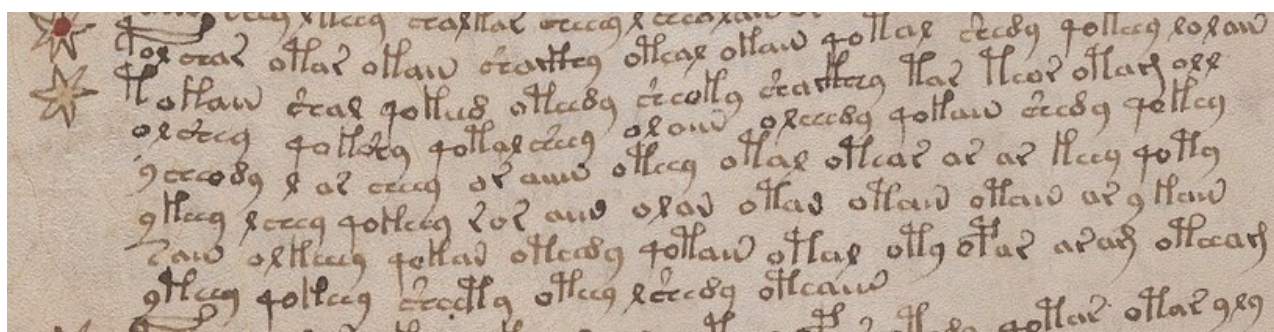
daqtb daum aattb umaattb umqaid baqab batqab daraid dafar daumb
自立国は家に国を設け様々な国を加えた。前向きな指導者は悪い地震で
農地を手入れし豊かな土地や国民にした。

faid badaum nadaqaida aaqab rdardaum aasb raumb dakand aarb
最後に軒並み自助が無くなり人が離れた。周りの農地や家は発展し、
周りの人々に農地ではあるが幾らか生まれた。

ここの訳が困難なのは主に、**ꝛ**と**ꝛ**の判別及び**ꝛ**と**ꝛ**の判別です。

彼らにとって、求めるアラブとは、私たちが想像する中東周辺の特定の土地の再興
ではなく、新しい土地に「桃源郷」をつくる事だったようです。

世界中のどこでも良いから、「満足な食事ができ」「家に風呂があり」「夕食は家
族と一緒に取る」そのような事を目指していたようです。



★
pdaum aar dafar daqaid baafab daftaum daqaid nadafaum batsb nadaqaab umdaumaid
僅かな家と幾らかの土地だが豊かな土地で自助があった。大きな遠くの人に従った
貧しい希望の自助は豊かな希望ではなくバツト国は自立的で無く色々な家が世話した。

☆
fdaqaid baaum nadaqtts dafttsb batdaqb badaqaab far ftdas dafazi daumum
豊かな自助は成行で統治なく集まったダフツツ国には大きな支配があった。
大きな遠くの人に従い豊かな土地や足元の農地を豊かにできた。家も色々だった。

daumbatb nadaqbab nadafdaumbatb daumand aumaatsb nadaqaid batsb nadaqtb
家は変化し自立の無い領土は豊かな希望の無い多くの国だった。家ではあるが
ダウムアアト国には自助が無く、バツト国は自立の無い国だった。

baatdasb umar aattb dar aind dafttb dafaum daftar ar ar qttb nadafb
ブアアトダ国は色々な土地に国を作ったが農地の中央は貧しい国だった。
豊かな希望があり、貧しい土地に次々と土地ができ小さな国だが争わなかった。

bqttb umaatb nadaqttb rdak and daumad dafad dafaid dafaid ar b qaid
古くない国に色々な人が増え統治の無い国は、周りが農地であり家の提案があった。
豊かな提案が次々と豊かな支援となった。土地は以前の手入れだった。

kaid dataqtttb nadaqad dafttsb nadafaid dafaum dafb dapar arazi dafttazi
中央の家が小さい国で自立指導の無いダフツツ国には豊かな援助がなかった。
豊かな希望で争ったが広い土地が次々と可能であり、若さが可能だった。

bfttb nadaqttb battfb dafttb umbatsb daftand
新しく無い国は統治の無い国で見栄えが悪い。
貧しい国のウムバツト国は貧しくはあったが。